

S S T K



さくら草だより

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会

編集人 社会福祉法人さくら草

〒332-0011 川口市元郷1-10-13

〒336-0015 さいたま市南区太田窪 3501-2 電話 048-813-7426 Fax 048-886-6301

電話 048-225-1625

HP <http://www.sakuraso.net/> E-mail sakuraso@www2.kiy.jp

デイセンターさくら草
各班よりお年賀です。

明けまして
おめでとうございます



ふたば班



あんず&くらら班



コスモス班

デイセンターさくら草の年賀状を紹介します。消しゴムで判子を作ったり、パソコンを使ったり、アトリエで作っています。

あけましておめでとうございます。

昨年は皆様の温かいご支援、ご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

本年もよろしくお願いいたします。

社会福祉法人さくら草一同

2面には
『おむつケーキ』



新発売！「おむつケーキ」ふたば班の新製品が到着。

洒落の利いた贈り物に是非！

メンバーが心を込めて作ります！！

ご注文お待ちしております。

オムツケーキありがとうございました。まさか、ふたば班のみんなから祝ってもらえるとは思っていなかったのでも嬉しかったです。最初は何で出来ているケーキなのか分からなかったのですが、紙オムツで出来ていることがわかってびっくりしたと同時に言葉にならないくらい嬉しかったです。もったいなくて、今もまだリビングの一番目立つところに飾ってあります。本当にありがとうございました。

お世話になっています！

ヘアカット・美容カット

デイセンターさくら草には、ヘアカット・美容カットの有償ボランティアさんが来てくれています。毎回10人前後の方が利用しています。理美容室になかなか行くことのできない方も髪を整え、気分リフレッシュ！！カットが終わった後の笑顔がとても印象的です。今後もたくさんの笑顔を引き出していただけると嬉しいです。よろしく願います。



ヘアカットは主に男性が利用しています。利用者さんの家族の方に来ていただいています。以前は理容室、現在は美容室にお勤めされています。

ヘア&スパ
美容室アイリス 紺野様



美容カットは主に女性が利用しています。職員が利用している美容室の方々に来ていただいています。毎回、4~5人の美容師さんが来てくれます。

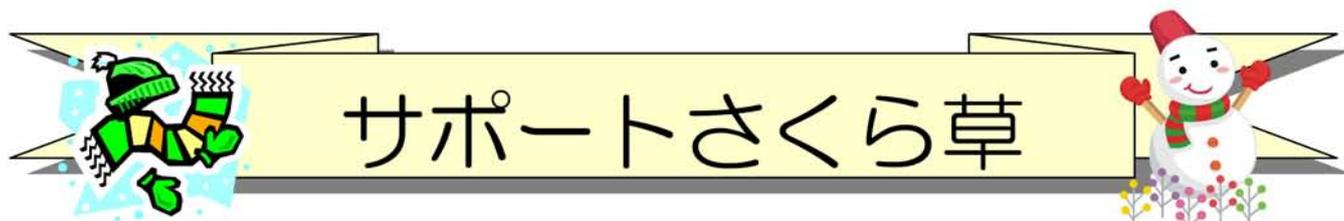
美容室 ミス・クロップの皆様
写真右から2番目 代表・岡田様

<活動報告>

(2012年11月1日~2012年12月31日)

- | | | | |
|----------|-------------------|--------|-----------------------|
| 11月6,20日 | インフルエンザ予防接種 | 11月29日 | 焼きいもまつり(デイセンター) |
| 9日 | ドッジボール大会(ふたば) | 12月6日 | 浦和大学学生見学 |
| 12~29日 | 埼玉県喀痰吸引等研修(関口、山田) | 7日 | 施設見学(鈴木、福岡) |
| 13日 | コスモス避難訓練 | 11~14日 | 重度・重症児(者)医療・療育講習会(齊藤) |
| 13日 | 半日ツアー | 14日 | チョコフォンデュまつり(ふたば) |
| 19日 | 福祉有償運送運転者研修(樋口) | 21日 | クリスマス会(デイセンター) |
| 20,21日 | 摂食指導講習会(山口) | 25日 | クリスマス会(コスモス) |
| 21日 | デイセンター避難訓練 | 28日 | ボーリング大会(あんず・くじら) |
| 27日 | 和光特支中学3年生4名実習 | | |

健康診断一年2回 ヘアカット(理・美容) 通院介助 体重測定一毎月 誕生会一各誕生月 音楽療法一月1回
アロマセラピー一月1回 みんなのアトリエ一月2回 趣味の日一月1回~ 静的弛緩誘導法訓練会参加一月1回
陶芸一月2回 家族会一月1回 さくら草せっけん教室一月1回



車いすシーティング製作技能養成コース終了しました



サポートさくら草職員である私は、今回「一般財団法人啓成会・車いすシーティング製作技能養成コース(全日制・6ヶ月)」を無事終了しました。

啓成会は東京都豊島区大塚にある、大正13年から続く義肢・装具の製作・修理・研究を行っている歴史ある法人であり教育機関です。車いすシーティング製作技能養成コースの目的は、車いす・姿勢保持装置に関する医学的・工学的専門知識を学び、更に車いす・姿勢保持装置の製作・調整・修理・相談ができる実践的技術者を養成するものです。

私はサポートさくら草で働く中で、車いすは単なる移動手段ではないことを知りました。食事・学習・休息などの生活全般を支えるものであるべきだと考えるようになりました。そんな時、今回の車いすシーティング養成コースの募集を知り、応募しました。

6ヶ月間の学習は基礎医学・人間工学・福祉機器実習・関係法規など多岐にわたりました。学生は6名という少人数で、きめ細かく指導していただき、その道の第一人者である講師陣にも恵まれました。日本初の車いすシーティング養成コースということで、各地からの見学もあり、緊張の毎日でした。



シーティングとは、直訳すると「座らせること」という意味になるそうです。しっかりと体にあつた姿勢保持を使うことにより、寝たきりを防ぎ、身体機能や精神の働きを促し、体の緊張やゆがみを緩和する効果があることを学びました。

障害者にとって、社会生活を広げるためにシーティングは欠かせないものです。車いす作成時にシーティングに配慮して作ることはもちろんですが、実際に車いすを使う現場でも、出来ることは多いということも学びました。

抱き上げてストンと座らせてしまうだけでは、せっかくのシーティングが無駄になってしまいます。たとえば、リクライニングやティルト機能には、それぞれ使う順番があり、目的とすることが違います。シーティングされた車いすを最善の状態を使いこなすために、家庭や学校、施設などが共通の認識をもつことが大切です。私は今後、シーティングの本来の意味などをアドバイスして、利用者本人の安全と安楽のために多職種の連携を深めていきたいと考えています。

今回24年7月当初から24年12月末までの6か月にわたる通学期間、関係者と利用者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしました。快く送り出してくださり、感謝しています。学んだことを、仕事を通し広く還元していけるよう頑張っていきたいです。今後ともよろしく願いいたします。

サポートゆず



ある日のゆず&新ヘルパー紹介

新しく6名のヘルパーがゆずの仲間となりました。

今回は3名のヘルパーと利用者さんとの過ごし方を紹介したいと思います。

1. 名前
2. 血液型
3. 趣味
4. マイブーム
5. 自慢話
6. ひとこと



中学三年生の福田絵里奈さん。

いつも自宅から歩いてお散歩をしています。夏の暑い日も、冬の寒い日も、絵里奈さんは頑張って歩きます。今日も竹田ヘルパーと曇り空の中、家から歩いてきました。中学生になり、すっかりお姉さんになったと思ったら、もう来年は、高校生ですね。私達を気遣ってくれたり頼もしい絵里奈さんです。

竹田さん紹介

1. 竹田 靖江
2. A型
3. 旅行。体を動かすこと。
4. 一人旅。美味しい物を食べること
5. 会の平均年齢を上げました。
6. 体重を気にしていても、食べてばかりで減りません。

吉田さんの紹介

1. 吉田 素子
2. A型
3. 映画鑑賞。ドライブ
4. ドライフラワーリース
5. 毎日1時間のウォーキングを15年続けています。
6. ゆずで元気な子供たちにパワーをもらっています。

高橋拓椰さんはいつもニコニコ笑顔。

お散歩も大好きで私達をいろいろな所へ連れて行ってくれます。とてもよく道を知っているので、東浦和のいろんな場所へ案内してくれ、この日も元気いっぱい散策し、少し休憩。すっかり背も高くなり、私達は拓椰さんの笑顔に癒されています。



根岸涉さんは小学校に入学する前からのお付き合い。まだ慣れない時は、可愛らしいお顔に涙がポロポロでした。今では、すっかり健脚の持ち主、ヘルパーは頑張って追いかけます。言葉も覚え、これからの成長が私達はとっても楽しみです。いつまでも遊んでくださいね。



1. 江刺 ゆかり

江刺さんの紹介

2. A型
3. 読書。ガーデニング
4. 日本手ぬぐい集め
5. お年玉付き年賀はがきで、2年連続で3等が当たった事。(3等は1万本に1本)
6. 仕事を始めて1カ月半。毎回ドキドキです。わからない事を皆さんにお聞きすることがあると思いますが、宜しくお願いします。

南区障がい者生活支援センターあみ〜ご



あみ〜GO?

「あみ〜ごは色々な相談を受けているっていうけど、誰が何の相談をしてくれるの？」
 「それに、相談とか支援とか、そういう依頼がどれくらいあるの？」
 「うちなんか、相談とか支援とか一度も利用したことないからよくわからないよ。」



という疑問がいつも向けられる生活支援センターあみ〜ごです。実際の活動状況が目に見えてこない仕事ですので、そういう疑問もごもっともです。

そこで、恒例となった活動状況報告をいたします。平成24年度の上半期(4月〜9月)の相談状況です。これで、あみ〜ごの状況が少しでもわかっていただけたら幸いです。

相談者数(単位:人)

障害内容(単位:述べ人数)

新規相談	継続相談	合計	身体	知的	精神	発達	高次脳	その他	合計
57	129	186	34	58	101	7	9	5	214

「その他」には、難病患者などが含まれています。

所属(単位:人)

通園	通学	通所	在宅	就労	入院	入所	不明	合計
5	20	13	104	25	12	5	2	186

常に在宅の方の相談件数が圧倒的多数です。在宅のために社会から孤立しがちな方々に、必要な支援をお届けし、社会とつながるお手伝いをしたいと頑張っています。

*相談内容・支援内容(単位:延べ件数)

福祉サービス	障害・病状	健康・医療	不安解消	保育・教育	人間関係
957	166	186	552	47	294
経済	生活技術	就労	余暇・社会参加	その他	合計
161	218	173	336	599	3689

ここにカウントされない支援もしています。一人が複数の困難を抱えていることも多くあります。福祉サービスの相談支援が一番多いことはいつも通りですし、形には見えない「不安の解消」が大変重要な支援となっていることも見えています。また、余暇活動や社会参加なども、大切なことであることが分かります。

障害のある方やそのご家族、関係機関からの相談に乗るところ、それが「あみ〜ご」です。

生活するうえでの様々なお困りごとのご相談を受けています。利用料はかかりません。

お気軽にご相談ください。

電話: 048-866-5098 FAX: 048-866-5128 (相談受付: 平日 10:00~17:30)



～ 意思決定支援について ～ 家族会主催講演会報告

デイセンターさくら草11月家族会で、柴田洋弥氏(東京都発達障害支援協会政策顧問、当法人理事)に講演していただいた。

家族会世話人会で講演内容を話し合っているときに、あるお母さんから「あの子に意思があるのかな。何でも私が決めるけど。」と意思決定支援のなんたるかに疑問が出された。

それに、「制度の難しい話はちょっと」ということでこの講演が決まった。

柴田氏は、若かりし頃から障がい者を支援する中で利用者主体の大切さを実感し実践してこられた。今回は、難しい話を封印し、実践から学び取った障害者権利条約に通じるお話を伺った。

家族会会員のアンケートから一部紹介する形で報告します。

- ・「私自身を語りたい」から始まった講演。理数系の大学を出てバイト先で知的障害者と出会い、障害があっても意志があり行動にもでること<中学生の時、英語を特別学級の自分たちにも教えてほしいと生徒がまとまり先生にお願いしたエピソード>を知り、のめっていった(?)人生。
- ・陶芸の話、農園の話<本人が施設の外に出たいという願いを叶える作業活動を行ったエピソード>、てんかん発作の話<職員の緊張感が伝わりてんかんを誘発するエピソード>、ひげそりの人の話<カづくではなくお母さんのように本人の思いを尊重した介助>、どの話もあたりまえとってしまえばそうですが、人間そう簡単には思いどおりにはならないはず。すばらしい支援の数々。常に常に柴田先生と利用者の気持ちがつながっていたんだなと、いえ、つなげていったのだろうか—andと感嘆、ただ感嘆でした。
- ・今まで我が子の意思を無視してしまっていた様な気がします。これからは、お聞きした事を参考に本人の意思を読み取り、応えられる様にしたいと思います。
- ・講演を聞きながら、思わず昔のことを思い出してしまいました。幼い頃から意思決定のできる場面があまりにも少ない生活だったと思います。現在、毎日生き生きと明るい顔をしているのは、自分を認めてもらえているということなのでしょうね。うれしいです。名前の呼び方は〇〇さんと普通の呼び方が一番良いと思います。呼び捨てにされるのもいやでしょうし、様と呼ばれるのもお客様扱いされているようでいやだと思います。同じ目線の〇〇さんが無難でしょう。家での呼び方はそれぞれでしょう。改めて考えることはないと思います。たとえば、家ではママゴン、お母さん、マミー、場面によって変化・・・〇〇ちゃんはいくつになっても〇〇ちゃんです。
- ・長い間、実際に障害に関わっている柴田氏のお話に引き込まれ、あらためて子供への接し方を考えさせられました。是非、職員の方にも柴田氏の講演を聞いてもらい、支援の仕方を勉強していただきたいと思いました。

氏は、措置制度の時の「保護・指導訓練」、障害者自立支援法の「身辺介護」ではなく、生活のあらゆる場面で障がい者の思いを支える「意思決定支援」こそ、支援の本質だと発言してきた。その運動によって「意思決定支援」が、障害者基本法改正で国・行政に権利擁護施策で義務付けられ、障害者総合支援法で障害者施設などの責務となった。法律的にも位置づけられ、利用者主体を支援する施設職員の在り様としても学びたいテーマであった。2月に職員研修を行う予定である。

(山本)

編集後記

「大相撲人(オオズモウジン)」→より告知。「仙台つどいの家」が建物の再建を余儀なくされました。あなたの変わらぬお心遣いが元気の源です。広報 第22号(N)

